

下の整備」を図り、ごみの再資源化を強力に推進します。

●防犯対策

県の緊急雇用創出基金事業の補助を受け「防犯パトロール」を実施し、安心して暮らせる町づくりに努めます。

また、町民ぐるみの防犯への取組みの検討をし、町内各種団体への協力を得、町民の防犯意識の向上を目指す「犯罪に強いまちづくり」の取組みを行っていきます。

建設部門

便利で快適な都市基盤・生活環境の整備に努めます。

●県道整備事業

まず、熊野町におけるインフラ整備の最重要課題である主要地方道矢野安浦線の整備を、事業主体である広島県において、川角交差点から東側、県道瀬野真線・町道昭和線と接続するまで

の区間の用地測量等に着手、また深原地区におけるトンネルについての用地測量等を実施していただき、慢性的な交通渋滞解消のために、県等関係機関へ引き続き道路整備の早期完成を強く要望してまいります。

●町道整備事業

深原地区の公園への進入路でもある、町道深原公園線の橋梁下部工事、また、老朽化の著しい川角大橋の架け替え工事に着手します。町内の狭小な道路の拡幅、離合場所の整備及び老朽化した道路の舗装・補修を行う安全性の向上に努めます。

●公園整備

用地取得等、関係地権者のご理解・ご協力をいただいている新宮深原地区の公園について造成工事に着手します。

●公共下水等・上水道事業

公共下水道事業は、出来庭・萩原・城之堀地区の一部、約22ヘクタールの面整備を予定しており、平成16年度末の普及率は約73%になる見込みです。上水道事業は、未給水地区の解消事業として、新宮・出来庭地区を計画しています。

また、下水道事業に伴う改良工事については城之堀・出来庭地区を予定しています。

教育部門

●学校教育

未来を託すべき児童生徒一人ひとりが人間性豊かに能力、適性を最大限に伸ばすことを目的とし、町民の信頼に応える教育の確立に努めます。

学校の週5日制も2年目を迎え、定着してきましたが、保護者の間では児童・生徒の学力低下が懸念されています。そのため熊野町

合併問題

では平成15年度の2学期から試行的に家庭教育の支援及び学力補充の「土曜夢塾」を行ってききました。この「土曜夢塾」を平成16年度も継続して実施したいと考えています。

また、海外から英語指導助手を小・中学校に各1名の計2名配置していますが、平成16年度からは小学校に更に1名の増員を行い、計3名の英語指導助手の配置により、これまで以上の効果が上がるよう進めていきます。

●生涯学習

生涯を通じて、幅広い学習機会の提供と人間形成の基礎作り、誰もが健康で、気軽にできるスポーツ活動を通して、町民同士のふれあい交流の実現に向け努めます。

平成12年に「地方分権の推進を図るための関係法律の整備等に関する法律」が施行され、各地において急速に合併議論が広まりました。このことは、国や県から権限が移譲されることに伴い、その受け皿として行政基盤を強化するために、比較的人口規模の小さな市町村において、合併論議がされています。これを受けて熊野町においても、住民への情報提供や住民アンケート調査、近隣市町との調査研究会などの取組みを行って参りました。しかし、熊野町の将来の町づくりのため、国・県の動向や合併された町村の状況を見極め、早急な結論は避け、引き続き様々な角度から調査研究したいと考えています。

(総務課

TEL 820-5601)